

受 験 番 号					
M					

令和 8 年度
 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験
 【博士課程前期】（9 月入試）

専 門 科 目

教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム
 健康スポーツ教育学領域

令和 7 年 9 月 1 0 日

自 9 時 0 0 分
 至 1 2 時 0 0 分

受験上の注意事項

1. すべてのページに受験番号を記入してください。
2. 配付した問題用紙は持ち帰ってはいけません。
3. 配付した問題用紙は，表紙を含めて 4 ページです。
4. 問題 1 ～問題 6 は，「領域共通問題」です。全員が全問を解答してください。

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号							
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 健康スポーツ教育学領域	M							

1. 高地でトレーニングするのはどうしてか？そのメカニズム，メリットとデメリットを述べなさい。

2. 「e スポーツ」はスポーツとして認められるべきか。現代社会におけるその位置づけについて述べなさい。なお，論述にあたっては「身体性」「オリンピック」「教育への応用」という語を必ず使用し，それぞれの観点から具体的に論じること。

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号							
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 健康スポーツ教育学領域	M							

3. 現代社会における座位時間の増加が健康に与える影響について、生理学的メカニズムを含めて論述し、効果的な対策を具体的に 3 つ提案せよ。

4. 「健康づくりのための身体活動基準 2013」から「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」への改訂点の一つとして、高齢者・成人を対象に週 2～3 日の筋力トレーニングが推奨されたことが挙げられる。「筋力トレーニングが推奨される科学的根拠」，「筋力トレーニングに関する国内の実施状況」，「今後取り組むべきこと」を記載しなさい。その際，「性差」および「個別性の原則」について、いずれかの項目で触れること。

令和 8 年度 広島大学大学院人間社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（9 月入試）

試験科目	専門科目	受 験 番 号						
専攻 プログラム 領域・コース	教育科学専攻 教師教育デザイン学プログラム 健康スポーツ教育学領域	M						

5. 保健体育科におけるダンス領域の内容と着目すべき学習課題について説明しなさい。

6. 「個別最適な学び」を重視した体育授業のあり方について、授業設計や学習評価にも触れながら論じなさい。